



情報・環境・モノづくり領域において、 全国No.1の教育拠点をめざす

Ranking 進路指導教諭編

全国 第7位
九州私立大 第1位

就職に力を入れている大学

Ranking 進路指導教諭編

全国 第5位
九州 第1位

面倒見が良い大学

福岡工業大学の就職率は、8年連続で「99%超」、実就職率は9年連続で「95%超」を達成し、外部・企業から高評価を得ています。

例年、700社を超える企業が参加する在学生向けの学内合同企業説明会を実施。規模の大きさは西日本最大級で、就職希望者数を上回る企業が参加しています。

このほか、上場・大手企業を目指す学生に対して行う「トップアップ講座」や東京と大阪の上場企業など約50社を招き、学内の研究・教育に触れる「企業交流会」など様々な就職支援や取り組みを行っています。

昨年度は全学生のうち、志望した企業に就職できた割合は97.6%で、そのうち75%を超える学生が第一志望の企業に就職できています。また、上場企業及び大手・中堅企業への就職率も71.8%と高い実績でした。就職「率」だけでなく、「質」の高い就職を実現するために教職員一同、本気でサポートしています。



「面倒見の良い大学」・「丁寧な教育」に資するエンロールメント・マネジメント（入学前から卒業後まで一貫してサポートする取り組み）の取り組みとして、入試・学修・就職・進学など入学から卒業までの各種データを管理し、その可視化・分析による教育改善を実践しています。例えば、学修データから問題を予見し職員が個別指導・面談に生かすことで、学生の留年・退学を未然に防いでいます。デジタル化の先のデータ活用による教育改革を行い、面倒見が良い教育を実現しています。また、学生が希望する就職先の内定を得るために教職員が学生一人ひとりに合わせたサポートを手厚く行っています。志望通りの就職の実現には、個々に合わせた「戦略」が必要です。福岡工業大学では、学科専属の職員が学生の強みや個性を見極めながら個別指導を行っています。

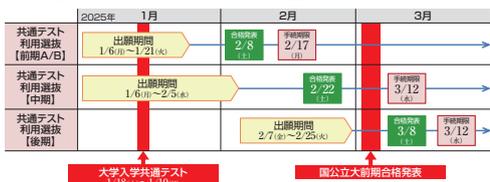
こうした国内トップクラスのDXの取り組みを通じた教育と学生一人ひとりに寄り添ったサポート環境が、面倒見が良い大学と評価される所以です。



2025年度入試 TOPICS

① 国立大学と併願しやすい

- 共通テスト利用選抜（前期A/B・中期・後期）
大学入学共通テスト後の出願と、中期と後期は国立大学前期入試の合格発表後の入学手続きが可能です。
- 2025年度より、情報を活用する「前期B：情報型」を新設



② 受験料の負担軽減(併願割引)

複数の入試制度をうまく活用することで受験料の負担軽減と合格の可能性を広げることができます。

【例】
3教科型選抜(2/9・2/10) 受験料30,000円(1日のみ)
3教科型選抜2日間受験で受験料60,000円→40,000円※

共通テスト利用選抜(前・中・後期) 受験料15,000円
4学科まで同一金額※

3教科型選抜と共通テスト利用選抜前期の併願割引
3教科型選抜(1日のみ)+共通テスト利用選抜: 35,000円※
3教科型選抜(両日)+共通テスト利用選抜: 50,000円※

※併願割引は同時出願にのみ適用。

③ 入試による学業奨学制度

合格者の約9人に1人の特待生比率

大学入試による成績上位者を対象とした学業奨学制度は、4年間の授業料が全額または半額免除と、1年間の授業料半額免除の3種類があります。



※対象人数は2024年度入試実績。
※4年間の授業料全額免除では国立大学の学費より低額。

④ 2025年度より新しい4タイプの「総合型選抜」がスタート!

タイプⅠ理工系女子(社会環境学科を除く)・タイプⅡ探究を新設しました。

タイプⅠ	理工系女子	理工系分野に強い関心と意欲をもつ女生徒対象
タイプⅡ	探究	高校時代の探究学習や課題研究などで得られた力などを評価
タイプⅢ	有資格	保有する資格を生かした入試
タイプⅣ	帰国子女および国際バカロレア資格取得者	帰国子女および国際バカロレア資格取得者対象

学部/学科情報

- 工学部/
電子情報工学科
生命環境化学科
知能機械工学科
電気工学科
- 情報工学部/
情報工学科
情報通信工学科
情報システム工学科
情報マネジメント学科
- 社会環境学部/
社会環境学科(文系)
- 大学院/
工学研究科
社会環境学研究科
- 短期大学部/
情報メディア学科